

平成24年3月期 第1四半期決算短信
参 考 資 料

平成23年8月12日

NKSJホールディングス株式会社

(コード番号 : 8630)

平成24年3月期 第1四半期決算短信 参考資料 目次

主要な連結子会社の業績の概況

(株)損害保険ジャパン 単体	2
四半期貸借対照表	2
四半期損益計算書	3
種目別保険料・保険金関係	4
ソルベンシー・マージン比率	5
日本興亜損害保険(株) 単体	6
四半期貸借対照表	6
四半期損益計算書	7
種目別保険料・保険金関係	8
ソルベンシー・マージン比率	9
そんぽ24損害保険(株) 単体	10
四半期貸借対照表	10
四半期損益計算書	11
種目別保険料・保険金関係	12
ソルベンシー・マージン比率	13
セゾン自動車火災保険(株) 単体	14
四半期貸借対照表	14
四半期損益計算書	15
種目別保険料・保険金関係	16
ソルベンシー・マージン比率	17
損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体	18
四半期貸借対照表	18
四半期損益計算書	19
主要業績(保有契約高・新契約高・年換算保険料)	20
ソルベンシー・マージン比率	21
日本興亜生命保険(株) 単体	22
四半期貸借対照表	22
四半期損益計算書	23
主要業績(保有契約高・新契約高・年換算保険料)	24
ソルベンシー・マージン比率	25
損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体	26
四半期貸借対照表	26
四半期損益計算書	27
主要業績(保有契約高・新契約高・年換算保険料)	28
ソルベンシー・マージン比率	29
補足説明	30
諸比率等の計算方法	30
ソルベンシー・マージン比率	30
ソルベンシー・マージン比率の算出基準の見直し	31

主要な連結子会社の業績の概況

(株)損害保険ジャパン 単体

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前事業年度	当第1四半期会計期間	比較増減
		(平成23年3月31日)	(平成23年6月30日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		89,494	46,638	△42,856
コールローン		67,800	65,300	△2,500
買現先勘定		33,490	60,491	27,000
買入金銭債権		29,823	29,320	△502
金銭の信託		237	237	—
有価証券		3,359,247	3,340,782	△18,465
貸付金		455,617	445,810	△9,806
有形固定資産		211,597	209,400	△2,196
無形固定資産		96	96	—
その他資産		381,845	585,525	203,679
繰延税金資産		168,619	171,500	2,881
貸倒引当金		△3,477	△3,492	△15
投資損失引当金		△8,019	△8,019	—
資産の部合計		4,786,371	4,943,591	157,219
負債の部				
保険契約準備金		3,645,004	3,636,790	△8,214
支払備金		639,564	684,983	45,418
責任準備金		3,005,440	2,951,806	△53,633
社債		128,000	128,000	—
その他負債		207,245	382,238	174,992
退職給付引当金		77,984	79,106	1,121
賞与引当金		14,793	4,501	△10,291
特別法上の準備金		17,305	18,796	1,490
価格変動準備金		17,305	18,796	1,490
負債の部合計		4,090,334	4,249,432	159,097
純資産の部				
株主資本				
資本金		70,000	70,000	—
資本剰余金		24,229	24,229	—
利益剰余金		305,999	309,375	3,376
株主資本合計		400,229	403,605	3,376
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		295,807	290,552	△5,255
評価・換算差額等合計		295,807	290,552	△5,255
純資産の部合計		696,037	694,158	△1,878
負債及び純資産の部合計		4,786,371	4,943,591	157,219

(株)損害保険ジャパン 単体

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日) (至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日) (至平成23年6月30日)	比較増減	増減率
		金額	金額		
経常収益		407,570	438,046	30,476	7.5%
保険引受収益		381,432	419,260	37,827	9.9
(うち正味収入保険料)	(331,126)	327,788)	(△3,338)	(△1.0)
(うち収入積立保険料)	(29,466)	27,546)	(△1,919)	(△6.5)
(うち積立保険料等運用益)	(9,955)	9,698)	(△256)	(△2.6)
(うち支払備金戻入額)	(10,050)	—)	(△10,050)	(△100.0)
(うち責任準備金戻入額)	(—)	53,633)	(53,633)	(—)
資産運用収益		24,632	17,621	△7,011	△28.5
(うち利息及び配当金収入)	(23,991)	23,814)	(△176)	(△0.7)
(うち金銭の信託運用益)	(0)	0)	(0)	(85.2)
(うち売買目的有価証券運用益)	(28)	6)	(△21)	(△76.4)
(うち有価証券売却益)	(1,657)	3,467)	(1,810)	(109.2)
(うち積立保険料等運用益振替)	(△9,955)	△9,698)	(256)	(—)
その他経常収益		1,504	1,165	△339	△22.5
経常費用		392,212	431,105	38,893	9.9
保険引受費用		324,499	369,456	44,956	13.9
(うち正味支払保険金)	(189,198)	205,838)	(16,639)	(8.8)
(うち損害調査費)	(23,595)	23,027)	(△568)	(△2.4)
(うち諸手数料及び集金費)	(55,575)	56,493)	(917)	(1.7)
(うち満期返戻金)	(44,770)	37,818)	(△6,951)	(△15.5)
(うち支払備金繰入額)	(—)	45,418)	(45,418)	(—)
(うち責任準備金繰入額)	(8,900)	—)	(△8,900)	(△100.0)
資産運用費用		9,020	4,389	△4,630	△51.3
(うち金銭の信託運用損)	(226)	—)	(△226)	(△100.0)
(うち有価証券売却損)	(900)	284)	(△616)	(△68.4)
(うち有価証券評価損)	(4,146)	1,418)	(△2,728)	(△65.8)
営業費及び一般管理費		56,784	55,111	△1,672	△2.9
その他経常費用		1,908	2,148	240	12.6
(うち支払利息)	(1,757)	1,863)	(106)	(6.0)
経常利益		15,358	6,941	△8,416	△54.8
特別利益		3,105	71	△3,034	△97.7
固定資産処分益		16	71	54	333.0
その他特別利益		3,088	—	△3,088	△100.0
特別損失		2,317	1,552	△764	△33.0
固定資産処分損		78	62	△15	△19.6
特別法上の準備金繰入額		1,472	1,490	17	1.2
価格変動準備金繰入額		1,472	1,490	17	1.2
その他特別損失		766	—	△766	△100.0
税引前四半期純利益		16,145	5,459	△10,686	△66.2
法人税等		5,899	2,082	△3,816	△64.7
四半期純利益		10,246	3,376	△6,869	△67.0

保険引受收支	正味収入保険料 (十)	331,126	327,788	△3,338	△1.0				
	正味支払保険金 (一)	189,198	205,838	16,639	8.8				
	損害調査費 (一)	23,595	23,027	△568	△2.4				
	正味事業費 (一)	108,983	108,555	△428	△0.4				
	(諸手数料及び集金費)	(55,575)	(56,493)	(917)	(1.7)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(53,407)	(52,061)	(△1,345)	(△2.5)
収支残高		9,350	△9,632	△18,982	△203.0				
保険引受利益 (△は損失)		1,426	△3,183	△4,609	△323.2				
諸比率	正味損害率 (%)	64.3	69.8	5.6					
	正味事業費率 (%)	32.9	33.1	0.2					
	収支残高率 (%)	2.8	△2.9	△5.8					

(株)損害保険ジャパン 単体

種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料(除く収入積立保険料)

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	42,158	11.9	△2.1	42,875	12.1	1.7
海上	7,919	2.2	11.2	8,055	2.3	1.7
傷害	35,722	10.1	0.9	36,872	10.4	3.2
自動車	164,428	46.5	△1.1	163,640	46.0	△0.5
自動車損害賠償責任	46,412	13.1	2.6	48,683	13.7	4.9
その他	56,876	16.1	4.6	55,279	15.6	△2.8
合 計	353,517	100.0	0.6	355,405	100.0	0.5
(収入積立保険料)	(29,466)	—	(17.9)	(27,546)	—	(△6.5)

正味収入保険料

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	34,500	10.4	3.2	34,153	10.4	△1.0
海上	6,203	1.9	5.3	6,178	1.9	△0.4
傷害	35,572	10.7	1.3	36,543	11.1	2.7
自動車	164,173	49.6	△1.8	164,043	50.0	△0.1
自動車損害賠償責任	38,980	11.8	4.2	37,434	11.4	△4.0
その他	51,694	15.6	0.0	49,434	15.1	△4.4
合 計	331,126	100.0	0.1	327,788	100.0	△1.0

正味支払保険金

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	14,504	5.3	43.7	30,498	110.3	91.1
海上	4,020	24.0	69.1	4,643	15.5	79.1
傷害	16,834	1.9	52.0	17,300	2.8	52.0
自動車	93,834	△2.1	67.1	94,684	0.9	67.1
自動車損害賠償責任	38,750	△0.1	107.4	38,328	△1.1	111.0
その他	21,254	△41.7	44.4	20,383	△4.1	45.1
合 計	189,198	△7.5	64.3	205,838	8.8	69.8

(株)損害保険ジャパン 単体

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	1,476,906	1,426,313
資本金又は基金等	400,229	403,605
価格変動準備金	17,305	18,796
危険準備金	611	611
異常危険準備金	487,656	432,819
一般貸倒引当金	404	430
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	415,622	413,052
土地の含み損益	30,177	30,156
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	128,000	128,000
控除項目	157,360	157,360
その他	154,258	156,201
(B) リスクの合計額	394,555	350,542
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク(R_1)	77,389	77,393
第三分野保険の保険リスク(R_2)	—	—
予定利率リスク(R_3)	5,144	5,144
資産運用リスク(R_4)	173,292	173,419
経営管理リスク(R_5)	8,938	8,076
巨大災害リスク(R_6)	191,119	147,851
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$	748.6%	813.7%

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

【参考】平成23年度末(平成24年3月31日)から適用される新基準による数値

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	1,476,906	1,426,313
資本金又は基金等	400,229	403,605
価格変動準備金	17,305	18,796
危険準備金	611	611
異常危険準備金	487,656	432,819
一般貸倒引当金	404	430
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	415,622	413,052
土地の含み損益	30,177	30,156
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	128,000	128,000
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	157,360	157,360
その他	154,258	156,201
(B) リスクの合計額	525,109	496,518
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク(R_1)	108,300	108,372
第三分野保険の保険リスク(R_2)	—	—
予定利率リスク(R_3)	18,681	18,681
資産運用リスク(R_4)	301,892	300,584
経営管理リスク(R_5)	12,070	11,509
巨大災害リスク(R_6)	174,665	147,851
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$	562.5%	574.5%

(注) 「新基準」とは、現行基準に平成22年4月20日付内閣府令第23号および金融庁告示第48号(平成24年3月31日から適用)の改定内容を反映したものであります。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

日本興亜損害保険(株) 単体

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前事業年度	当第1四半期会計期間	比較増減
		(平成23年3月31日)	(平成23年6月30日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		124,674	128,088	3,414
コールローン		10,000	—	△10,000
買入金銭債権		2,449	1,898	△551
金銭の信託		46,313	46,098	△214
有価証券		1,697,112	1,673,292	△23,820
貸付金		200,717	198,612	△2,104
有形固定資産		127,897	126,582	△1,315
無形固定資産		526	526	△0
その他資産		169,264	202,072	32,807
繰延税金資産		82,262	81,510	△752
貸倒引当金		△2,028	△2,010	18
資産の部合計		2,459,190	2,456,671	△2,518
負債の部				
保険契約準備金		1,982,929	1,958,709	△24,220
支払備金		289,142	316,747	27,604
責任準備金		1,693,786	1,641,961	△51,824
その他負債		73,476	89,038	15,561
退職給付引当金		23,217	25,290	2,072
賞与引当金		5,415	1,403	△4,011
特別法上の準備金		8,611	7,238	△1,373
価格変動準備金		8,611	7,238	△1,373
負債の部合計		2,093,650	2,081,678	△11,971
純資産の部				
株主資本				
資本金		91,249	91,249	—
資本剰余金		46,702	46,702	—
利益剰余金		92,050	98,861	6,810
株主資本合計		230,001	236,812	6,810
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		131,995	133,730	1,735
繰延ヘッジ損益		3,543	4,449	906
評価・換算差額等合計		135,538	138,180	2,642
純資産の部合計		365,539	374,992	9,453
負債及び純資産の部合計		2,459,190	2,456,671	△2,518

日本興亜損害保険(株) 単体

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	比較増減	増減率
		金 額	金 額		
経常収益		202,981	241,006	38,024	18.7%
保険引受収益		190,147	228,269	38,122	20.0
(うち正味収入保険料)	(160,285)	160,865)	(579)	(0.4)
(うち収入積立保険料)	(9,517)	10,698)	(1,181)	(12.4)
(うち積立保険料等運用益)	(5,205)	4,881)	(△324)	(△6.2)
(うち支払備金戻入額)	(1,349)	—)	(△1,349)	(△100.0)
(うち責任準備金戻入額)	(13,773)	51,824)	(38,051)	(276.3)
資産運用収益		12,435	12,351	△84	△0.7
(うち利息及び配当金収入)	(13,403)	14,829)	(1,425)	(10.6)
(うち金銭の信託運用益)	(303)	121)	(△182)	(△59.9)
(うち有価証券売却益)	(3,171)	1,734)	(△1,437)	(△45.3)
(うち積立保険料等運用益振替)	(△5,205)	△4,881)	(324)	(—)
その他経常収益		398	384	△14	△3.5
経常費用		191,810	232,281	40,471	21.1
保険引受費用		157,594	197,489	39,895	25.3
(うち正味支払保険金)	(96,139)	111,309)	(15,170)	(15.8)
(うち損害調査費)	(8,895)	9,540)	(644)	(7.2)
(うち諸手数料及び集金費)	(27,195)	27,922)	(727)	(2.7)
(うち満期返戻金)	(24,497)	20,760)	(△3,737)	(△15.3)
(うち支払備金繰入額)	(—)	27,604)	(27,604)	(—)
資産運用費用		3,439	5,133	1,694	49.3
(うち金銭の信託運用損)	(246)	185)	(△61)	(△24.8)
(うち有価証券売却損)	(1,623)	1,671)	(48)	(3.0)
(うち有価証券評価損)	(445)	2,024)	(1,578)	(354.4)
営業費及び一般管理費		30,654	29,519	△1,135	△3.7
その他経常費用		122	139	16	13.4
(うち支払利息)	(10)	8)	(△1)	(△14.2)
経常利益		11,171	8,724	△2,446	△21.9
特別利益		598	2,343	1,744	291.5
固定資産処分益		33	3	△30	△90.9
特別法上の準備金戻入額		—	1,373	1,373	—
価格変動準備金戻入額		—	1,373	1,373	—
その他特別利益		565	967	402	71.2
特別損失		1,020	174	△846	△82.9
固定資産処分損		43	13	△30	△69.9
減損損失		36	161	124	340.3
特別法上の準備金繰入額		778	—	△778	△100.0
価格変動準備金繰入額		778	—	△778	△100.0
その他特別損失		162	—	△162	△100.0
税引前四半期純利益		10,748	10,893	144	1.3
法人税等		3,244	4,082	837	25.8
四半期純利益		7,504	6,810	△693	△9.2

保 險 引 受 収 支	正味収入保険料	(+)	160,285	160,865	579	0.4
	正味支払保険金	(-)	96,139	111,309	15,170	15.8
	損害調査費	(-)	8,895	9,540	644	7.2
	正味事業費	(-)	56,335	55,881	△453	△0.8
	(諸手数料及び集金費)	(27,195)	27,922)	(727)	(2.7)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(29,139)	27,959)	(△1,180)	(△4.1)
収支残高		△1,084	△15,866	△14,781	—	
保険引受利益		2,731	2,166	△564	△20.7	
諸 比 率	正味損害率	(%)	65.5	75.1	9.6	
	正味事業費率	(%)	35.1	34.7	△0.4	
	収支残高率	(%)	△0.7	△9.9	△9.2	

日本興亜損害保険(株) 単体

種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料(除く収入積立保険料)

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	28,940	16.6	△1.4	30,305	17.2	4.7
海上	3,731	2.1	9.8	3,690	2.1	△1.1
傷害	14,333	8.2	△1.5	14,225	8.1	△0.7
自動車	81,206	46.8	△1.8	81,191	46.1	△0.0
自動車損害賠償責任	20,334	11.7	1.8	21,334	12.1	4.9
その他	25,483	14.6	0.2	25,258	14.4	△0.9
合 計	174,029	100.0	△0.8	176,006	100.0	1.1
(収入積立保険料)	(9,517)	—	(27.3)	(10,698)	—	(12.4)

正味収入保険料

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	20,099	12.5	△5.5	21,430	13.3	6.6
海上	3,330	2.1	4.4	3,084	1.9	△7.4
傷害	14,520	9.1	△0.6	14,454	9.0	△0.5
自動車	81,083	50.5	△1.7	81,495	50.6	0.5
自動車損害賠償責任	17,553	11.0	4.3	16,654	10.4	△5.1
その他	23,698	14.8	△0.0	23,745	14.8	0.2
合 計	160,285	100.0	△1.1	160,865	100.0	0.4

正味支払保険金

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	9,135	△15.3	49.8	27,982	206.3	134.2
海上	1,587	△16.6	49.4	1,503	△5.3	50.3
傷害	7,462	△1.6	56.7	7,012	△6.0	53.2
自動車	50,185	4.5	67.9	47,454	△5.4	65.5
自動車損害賠償責任	17,814	0.3	108.0	17,654	△0.9	113.0
その他	9,952	△12.1	47.1	9,702	△2.5	44.8
合 計	96,139	△1.3	65.5	111,309	15.8	75.1

日本興亜損害保険(株) 単体

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	742,896	709,012
資本金又は基金等	230,001	236,812
価格変動準備金	8,611	7,238
危険準備金	14	14
異常危険準備金	287,719	241,880
一般貸倒引当金	75	92
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	180,010	182,632
土地の含み損益	15,866	15,943
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	13,269	13,269
その他	33,866	37,668
(B) リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$	231,098	192,528
一般保険リスク(R_1)	37,852	37,846
第三分野保険の保険リスク(R_2)	1	1
予定利率リスク(R_3)	2,926	2,885
資産運用リスク(R_4)	78,200	76,637
経営管理リスク(R_5)	7,589	4,349
巨大災害リスク(R_6)	133,986	100,108
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A) / {(B) × 1/2}] × 100	642.9 %	736.5 %

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

【参考】平成23年度末(平成24年3月31日)から適用される新基準による数値

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	742,896	709,012
資本金又は基金等	230,001	236,812
価格変動準備金	8,611	7,238
危険準備金	14	14
異常危険準備金	287,719	241,880
一般貸倒引当金	75	92
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	180,010	182,632
土地の含み損益	15,866	15,943
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	13,269	13,269
その他	33,866	37,668
(B) リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$	284,736	271,958
一般保険リスク(R_1)	55,228	55,125
第三分野保険の保険リスク(R_2)	1	1
予定利率リスク(R_3)	10,408	10,264
資産運用リスク(R_4)	147,295	145,913
経営管理リスク(R_5)	9,628	6,228
巨大災害リスク(R_6)	108,013	100,108
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A) / {(B) × 1/2}] × 100	521.8 %	521.4 %

(注) 「新基準」とは、現行基準に平成22年4月20日付内閣府令第23号および金融庁告示第48号(平成24年3月31日から適用)の改定内容を反映したものであります。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

そんぽ24損害保険(株) 単体

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前事業年度	当第1四半期会計期間	比較増減
		(平成23年3月31日)	(平成23年6月30日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		1,664	1,809	145
有価証券		16,451	16,508	56
有形固定資産		137	125	△12
その他資産		806	679	△127
資産の部合計		19,059	19,122	62
負債の部				
保険契約準備金		9,497	9,847	350
支払備金		2,807	3,043	236
責任準備金		6,690	6,804	113
その他負債		1,558	1,390	△167
退職給付引当金		103	111	7
賞与引当金		80	21	△59
特別法上の準備金		23	24	0
価格変動準備金		23	24	0
繰延税金負債		—	4	4
負債の部合計		11,263	11,399	135
純資産の部				
株主資本				
資本金		19,000	19,000	—
資本剰余金		19,000	19,000	—
利益剰余金		△30,132	△30,284	△152
株主資本合計		7,867	7,715	△152
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		△72	7	79
評価・換算差額等合計		△72	7	79
純資産の部合計		7,795	7,722	△72
負債及び純資産の部合計		19,059	19,122	62

そんぽ24 損害保険(株) 単体

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第1四半期累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	当第1四半期累計期間 〔自平成23年4月1日〕 〔至平成23年6月30日〕	比較増減	増減率
		金額	金額		
経常収益		2,619	2,842	223	8.5%
保険引受収益		2,569	2,823	254	9.9
(うち正味収入保険料)	(2,542)	(2,821)	(278)	(11.0)
(うち積立保険料等運用益)	(2)	(2)	(△0)	(△4.9)
(うち責任準備金戻入額)	(24)	(-)	(△24)	(△100.0)
資産運用収益		49	18	△31	△63.1
(うち利息及び配当金収入)	(21)	(20)	(△0)	(△4.4)
(うち有価証券売却益)	(30)	(-)	(△30)	(△100.0)
(うち積立保険料等運用益振替)	(△2)	(△2)	(0)	(-)
その他経常収益		0	0	0	58.8
経常費用		2,524	2,991	467	18.5
保険引受費用		1,869	2,276	407	21.8
(うち正味支払保険金)	(1,449)	(1,521)	(72)	(5.0)
(うち損害調査費)	(163)	(216)	(52)	(32.0)
(うち諸手数料及び集金費)	(163)	(188)	(25)	(15.4)
(うち支払備金繰入額)	(92)	(236)	(143)	(155.4)
(うち責任準備金繰入額)	(-)	(113)	(113)	(-)
営業費及び一般管理費		654	715	60	9.2
その他経常費用		0	0	0	128.4
経常利益又は経常損失(△)		94	△149	△244	△258.0
特別損失		0	1	0	55.0
固定資産処分損		0	0	0	320.2
特別法上の準備金繰入額		0	0	0	5.2
価格変動準備金繰入額		0	0	0	5.2
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		93	△151	△245	△261.1
法人税等		0	0	-	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)		92	△152	△245	△263.8

保険引受收支	正味収入保険料(+))	2,542	2,821	278	11.0
	正味支払保険金(-)	1,449	1,521	72	5.0
	損害調査費(-)	163	216	52	32.0
	正味事業費(-)	817	902	84	10.4
	(諸手数料及び集金費)	(163)	(188)	(25)	(15.4)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(654)	(713)	(59)	(9.1)
	収支残高	111	180	69	61.7
保険引受利益(△は損失)	45	△167	△213	△464.3	
諸比率	正味損害率(%)	63.5	61.6	△1.9	
	正味事業費率(%)	32.1	32.0	△0.1	
	収支残高率(%)	4.4	6.4	2.0	

そんぽ 2 4 損害保険(株) 単体

種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料 (除く収入積立保険料)

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	—	—	—	—	—	—
海上	—	—	—	—	—	—
傷害	—	—	—	—	—	—
自動車	2,547	100.0	10.1	2,838	100.0	11.4
自動車損害賠償責任	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
合計	2,547	100.0	10.1	2,838	100.0	11.4
(収入積立保険料)	(—)	—	(—)	(—)	—	(—)

正味収入保険料

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	—	—	—	—	—	—
海上	—	—	—	—	—	—
傷害	—	—	—	—	—	—
自動車	2,503	98.5	10.1	2,787	98.8	11.3
自動車損害賠償責任	39	1.5	27.7	33	1.2	△13.7
その他	—	—	—	—	—	—
合計	2,542	100.0	10.3	2,821	100.0	11.0

正味支払保険金

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	—	—	—	—	—	—
海上	—	—	—	—	—	—
傷害	—	—	—	—	—	—
自動車	1,400	19.3	62.5	1,467	4.8	60.4
自動車損害賠償責任	49	12.5	125.7	54	10.6	161.1
その他	—	—	—	—	—	—
合計	1,449	19.0	63.5	1,521	5.0	61.6

そんぽ24損害保険(株) 単体

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	8,160	8,114
資本金又は基金等	7,867	7,715
価格変動準備金	23	24
危険準備金	—	—
異常危険準備金	340	364
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	△72	9
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$	962	980
一般保険リスク(R_1)	809	827
第三分野保険の保険リスク(R_2)	—	—
予定利率リスク(R_3)	—	—
資産運用リスク(R_4)	153	155
経営管理リスク(R_5)	32	32
巨大災害リスク(R_6)	105	106
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	1,695.8%	1,654.5%

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、資産運用リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

【参考】平成23年度末(平成24年3月31日)から適用される新基準による数値

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	8,160	8,114
資本金又は基金等	7,867	7,715
価格変動準備金	23	24
危険準備金	—	—
異常危険準備金	340	364
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	△72	9
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$	1,521	1,550
一般保険リスク(R_1)	1,316	1,344
第三分野保険の保険リスク(R_2)	—	—
予定利率リスク(R_3)	—	—
資産運用リスク(R_4)	351	353
経営管理リスク(R_5)	53	54
巨大災害リスク(R_6)	105	106
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	1,072.8%	1,046.5%

(注) 「新基準」とは、現行基準に平成22年4月20日付内閣府令第23号および金融庁告示第48号(平成24年3月31日から適用)の改定内容を反映したものであります。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、資産運用リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

セゾン自動車火災保険(株) 単体

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前事業年度	当第1四半期会計期間	比較増減
		(平成23年3月31日)	(平成23年6月30日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		4,028	2,627	△1,400
金銭の信託		1,316	1,313	△2
有価証券		23,104	22,166	△937
貸付金		16	15	△0
有形固定資産		385	372	△12
無形固定資産		1,958	1,961	2
その他資産		2,239	8,192	5,952
貸倒引当金		△0	△0	—
資産の部合計		33,049	36,650	3,600
負債の部				
保険契約準備金		20,051	20,382	330
支払備金		4,741	4,791	49
責任準備金		15,310	15,590	280
その他負債		1,986	6,456	4,470
退職給付引当金		218	218	△0
役員退職慰労引当金		42	44	2
賞与引当金		217	115	△102
特別法上の準備金		7	1	△6
価格変動準備金		7	1	△6
繰延税金負債		85	100	15
負債の部合計		22,610	27,320	4,709
純資産の部				
株主資本				
資本金		8,610	8,610	—
資本剰余金		6,848	6,848	—
利益剰余金		△5,250	△6,382	△1,131
株主資本合計		10,207	9,075	△1,131
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		231	254	23
評価・換算差額等合計		231	254	23
純資産の部合計		10,439	9,330	△1,108
負債及び純資産の部合計		33,049	36,650	3,600

セゾン自動車火災保険(株) 単体

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	比較増減	増減率	
		(自平成22年4月1日) 至平成22年6月30日)	(自平成23年4月1日) 至平成23年6月30日)			
		金額	金額			
経常収益		4,133	3,921	△212	△5.1%	
保険引受収益		4,008	3,795	△213	△5.3	
(うち正味収入保険料)	(3,816)	3,643)	(△173)	(△4.5)	
(うち収入積立保険料)	(163)	139)	(△24)	(△14.9)	
(うち積立保険料等運用益)	(12)	12)	(0)	(5.8)	
(うち支払備金戻入額)	(16)	—)	(△16)	(△100.0)	
資産運用収益		71	48	△23	△32.6	
(うち利息及び配当金収入)	(82)	60)	(△22)	(△26.7)	
(うち売買目的有価証券運用益)	(0)	—)	(△0)	(△100.0)	
(うち有価証券売却益)	(0)	0)	(0)	(167.8)	
(うち積立保険料等運用益振替)	(△12)	△12)	(△0)	(—)	
その他経常収益		53	77	23	44.4	
経常費用		4,513	5,053	540	12.0	
保険引受費用		3,275	3,179	△95	△2.9	
(うち正味支払保険金)	(1,880)	1,985)	(104)	(5.6)	
(うち損害調査費)	(253)	278)	(24)	(9.7)	
(うち諸手数料及び集金費)	(457)	404)	(△52)	(△11.5)	
(うち満期返戻金)	(233)	178)	(△55)	(△23.6)	
(うち支払備金繰入額)	(—)	49)	(49)	(—)	
(うち責任準備金繰入額)	(448)	280)	(△167)	(△37.3)	
資産運用費用		37	33	△3	△8.7	
(うち金銭の信託運用損)	(25)	2)	(△22)	(△91.0)	
(うち有価証券評価損)	(10)	—)	(△10)	(△100.0)	
営業費及び一般管理費		1,198	1,829	630	52.6	
その他経常費用		2	10	8	381.9	
(うち支払利息)	(1)	3)	(2)	(180.9)	
経常損失(△)		△379	△1,132	△752	—	
特別利益		12	6	△6	△52.1	
特別法上の準備金戻入額		12	6	△6	△52.1	
価格変動準備金戻入額		12	6	△6	△52.1	
特別損失		2	0	△1	△77.4	
固定資産処分損		2	0	△1	△77.4	
税引前四半期純損失(△)		△369	△1,126	△757	—	
法人税等		5	5	—	—	
四半期純損失(△)		△374	△1,131	△757	—	
保 險 引 受 収 支	正味収入保険料	(+)	3,816	3,643	△173	△4.5
	正味支払保険金	(-)	1,880	1,985	104	5.6
	損害調査費	(-)	253	278	24	9.7
	正味事業費	(-)	1,584	2,148	564	35.6
	(諸手数料及び集金費)	(457)	404)	(△52)	(△11.5)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(1,127)	1,743)	(616)	(54.7)
収支残高		98	△768	△866	△881.6	
保険引受利益(△は損失)		△353	△1,077	△723	—	
諸 比 率	正味損害率	(%)	55.9	62.1	6.2	
	正味事業費率	(%)	41.5	59.0	17.5	
	収支残高率	(%)	2.6	△21.1	△23.7	

セゾン自動車火災保険(株) 単体

種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料 (除く収入積立保険料)

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	871	19.6	70.9	844	19.4	△3.1
海上	0	0.0	△62.9	0	0.0	143.2
傷害	1,034	23.2	11.1	1,168	26.9	12.9
自動車	2,234	50.2	△4.1	2,070	47.7	△7.4
自動車損害賠償責任	91	2.1	△5.3	47	1.1	△48.1
その他	222	5.0	△6.9	213	4.9	△4.3
合 計	4,455	100.0	8.5	4,344	100.0	△2.5
(収入積立保険料)	(163)	—	(△18.6)	(139)	—	(△14.9)

正味収入保険料

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	637	16.7	78.1	581	16.0	△8.8
海上	6	0.2	△32.1	7	0.2	10.4
傷害	652	17.1	5.2	708	19.4	8.6
自動車	2,213	58.0	△4.1	2,048	56.2	△7.5
自動車損害賠償責任	102	2.7	8.4	97	2.7	△4.7
その他	204	5.4	△8.8	200	5.5	△1.9
合 計	3,816	100.0	5.6	3,643	100.0	△4.5

正味支払保険金

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成23年4月1日〕 〔至 平成23年6月30日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	59	15.6	10.5	113	91.3	21.5
海上	6	16.8	92.5	7	21.7	101.9
傷害	386	4.5	67.4	468	21.2	75.7
自動車	1,299	△3.6	66.6	1,199	△7.7	67.4
自動車損害賠償責任	101	3.9	107.6	108	7.4	118.3
その他	27	△29.9	17.7	87	214.8	49.2
合 計	1,880	△1.7	55.9	1,985	5.6	62.1

セゾン自動車火災保険(株) 単体

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年 6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	13,698	12,310
資本金又は基金等	10,207	9,075
価格変動準備金	7	1
危険準備金	8	8
異常危険準備金	3,185	2,901
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額 (税効果控除前)	285	319
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	2	3
(B) リスクの合計額	1,633	1,541
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク (R_1)	846	846
第三分野保険の保険リスク (R_2)	—	—
予定利率リスク (R_3)	6	6
資産運用リスク (R_4)	516	477
経営管理リスク (R_5)	58	55
巨大災害リスク (R_6)	579	511
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$	1,677.2 %	1,597.1 %

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

【参考】平成23年度末 (平成24年 3月31日) から適用される新基準による数値

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年 6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	13,698	12,310
資本金又は基金等	10,207	9,075
価格変動準備金	7	1
危険準備金	8	8
異常危険準備金	3,185	2,901
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額 (税効果控除前)	285	319
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	2	3
(B) リスクの合計額	2,114	2,019
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク (R_1)	1,260	1,258
第三分野保険の保険リスク (R_2)	—	—
予定利率リスク (R_3)	25	25
資産運用リスク (R_4)	707	661
経営管理リスク (R_5)	77	73
巨大災害リスク (R_6)	579	511
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$	1,295.8 %	1,219.1 %

(注) 「新基準」とは、現行基準に平成22年4月20日付内閣府令第23号および金融庁告示第48号 (平成24年3月31日から適用) の改定内容を反映したものであります。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当第1 四半期会計期間 (平成23年 6月30日)	比較増減
	金 額	金 額	
資産の部			
現金及び預貯金	39,395	49,334	9,939
有価証券	1,083,552	1,087,197	3,644
(うち国債)	(644,873)	(654,769)	(9,895)
(うち地方債)	(69,354)	(68,770)	(△583)
(うち社債)	(314,678)	(309,799)	(△4,879)
(うち株式)	(4,744)	(4,617)	(△126)
(うち外国証券)	(49,902)	(49,240)	(△661)
貸付金	18,067	17,856	△210
保険約款貸付	18,067	17,856	△210
有形固定資産	1,354	1,460	105
無形固定資産	4,114	3,861	△253
代理店貸	143	127	△15
再保険貸	1,480	1,055	△425
その他資産	25,303	24,141	△1,162
繰延税金資産	13,871	13,886	15
貸倒引当金	△29	△42	△12
資産の部合計	1,187,254	1,198,878	11,623
負債の部			
保険契約準備金	1,121,707	1,135,607	13,899
支払備金	22,017	21,429	△587
責任準備金	1,097,361	1,112,000	14,639
契約者配当準備金	2,329	2,177	△152
代理店借	2,584	1,908	△676
再保険借	1,231	1,143	△87
その他負債	5,803	4,481	△1,321
退職給付引当金	941	1,017	76
役員退職慰労引当金	84	91	7
特別法上の準備金	923	957	33
価格変動準備金	923	957	33
負債の部合計	1,133,276	1,145,208	11,932
純資産の部			
株主資本			
資本金	17,250	17,250	—
資本剰余金	10,000	10,000	—
利益剰余金	25,777	24,886	△891
株主資本合計	53,027	52,136	△891
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	949	1,532	582
評価・換算差額等合計	949	1,532	582
純資産の部合計	53,977	53,669	△308
負債及び純資産の部合計	1,187,254	1,198,878	11,623

損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体

四半期損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	当第1四半期累計期間 〔自平成23年4月1日〕 〔至平成23年6月30日〕	比較増減	増減率
		金 額	金 額		
経常収益		60,798	63,419	2,621	4.3%
保険料等収入		55,905	57,691	1,786	3.2
(うち保険料)	(55,203)	57,020)	(1,817)	(3.3)
資産運用収益		4,836	5,123	287	5.9
(うち利息及び配当金等収入)	(4,697)	4,977)	(280)	(6.0)
(うち有価証券売却益)	(139)	145)	(6)	(4.5)
その他経常収益		56	604	547	967.1
(うち支払備金戻入額)	(—)	587)	(587)	(—)
経常費用		60,496	63,548	3,051	5.0
保険金等支払金		35,327	32,769	△2,557	△7.2
(うち保険金)	(5,340)	5,686)	(345)	(6.5)
(うち年金)	(238)	286)	(47)	(20.0)
(うち給付金)	(5,622)	5,574)	(△48)	(△0.9)
(うち解約返戻金)	(22,686)	19,767)	(△2,918)	(△12.9)
(うちその他返戻金)	(273)	306)	(32)	(11.8)
責任準備金等繰入額		9,221	14,639	5,418	58.8
支払備金繰入額		120	—	△120	△100.0
責任準備金繰入額		9,100	14,639	5,538	60.9
契約者配当金積立利息繰入額		0	0	0	72.0
資産運用費用		1,170	226	△944	△80.7
(うち支払利息)	(13)	15)	(2)	(17.5)
(うち有価証券売却損)	(—)	88)	(88)	(—)
(うち金融派生商品費用)	(8)	3)	(△5)	(△58.4)
(うち特別勘定資産運用損)	(1,140)	98)	(△1,041)	(△91.4)
事業費		14,179	14,987	808	5.7
その他経常費用		597	924	326	54.6
経常利益又は経常損失(△)		301	△128	△430	△142.5
特別利益		0	—	△0	△100.0
その他特別利益		0	—	△0	△100.0
特別損失		265	677	411	154.7
固定資産等处分損		5	—	△5	△100.0
特別法上の準備金繰入額		103	33	△69	△67.1
価格変動準備金繰入額		103	33	△69	△67.1
その他特別損失		156	643	486	310.0
契約者配当準備金繰入額		402	408	6	1.5
税引前四半期純損失(△)		△365	△1,213	△848	—
法人税等		△60	△322	△262	—
四半期純損失(△)		△304	△891	△586	—

損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体

主要業績

保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前事業年度 (平成23年3月31日)				当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個人保険	1,923	111.1	115,732	111.2	1,971	102.5	118,282	102.2
個人年金保険	15	99.4	798	99.5	15	99.9	802	100.5
団体保険	—	—	18,891	102.8	—	—	18,912	100.1
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものであります。

新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)				当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個人保険	74	95.2	5,268	115.2	81	110.7	5,157	97.9
個人年金保険	0	90.1	4	88.5	0	96.0	4	94.3
団体保険	—	—	82	81.9	—	—	79	96.0
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資であります。

年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	前事業年度 (平成23年3月31日)		当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)	
		前年度末比		前年度末比
	個人保険	197,314	102.4	198,036
個人年金保険	3,547	103.1	3,588	101.2
合 計	200,861	102.4	201,625	100.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	79,058	108.5	80,667	102.0

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
		前年同期比		前年同期比
	個人保険	5,445	94.9	5,916
個人年金保険	19	89.1	18	95.5
合 計	5,465	94.9	5,935	108.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	2,644	87.2	3,095	117.1

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）であります。
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除きます。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含まず。）等に該当する部分の年換算保険料を計上しております。

損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年 6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	159,904	161,295
資本金等	53,027	52,117
価格変動準備金	923	957
危険準備金	14,939	15,215
一般貸倒引当金	7	7
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	1,340	2,162
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	74,145	75,819
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	15,520	15,014
(B) リスクの合計額	13,898	14,218
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R ₁)	7,114	7,270
第三分野保険の保険リスク相当額 (R ₈)	3,966	4,070
予定利率リスク相当額 (R ₂)	3,217	3,229
資産運用リスク相当額 (R ₃)	4,202	4,359
経営管理リスク相当額 (R ₄)	376	385
最低保証リスク相当額 (R ₇)	329	331
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,300.9 %	2,268.8 %

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条および第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。
2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を用いております。

【参考】平成23年度末(平成24年3月31日)から適用される新基準による数値

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年 6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	153,831	152,948
資本金等	53,027	52,117
価格変動準備金	923	957
危険準備金	14,939	15,215
一般貸倒引当金	7	7
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	1,340	2,162
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	74,145	75,819
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△5,219	△7,493
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	14,667	14,161
(B) リスクの合計額	18,683	19,144
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R ₁)	7,114	7,270
第三分野保険の保険リスク相当額 (R ₈)	3,966	4,070
予定利率リスク相当額 (R ₂)	7,388	7,412
資産運用リスク相当額 (R ₃)	6,692	7,032
経営管理リスク相当額 (R ₄)	509	522
最低保証リスク相当額 (R ₇)	323	325
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,646.7 %	1,597.8 %

- (注) 1. 平成22年内閣府令第23号、平成22年金融庁告示第48号により、ソルベンシー・マージン総額およびリスクの合計額の算出基準について一部変更(マージン算入の厳格化、リスク計測の厳格化・精緻化等)がなされております。当該変更は平成23年度末から適用されます。上記は、仮に当該変更を平成22年度末および平成23年度第1四半期会計期間に適用したと仮定した場合の数値であります。
2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を用いております。
3. 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は平成23年金融庁告示第25号第1第1項第1号の規定、「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額」は同告示第1第1項第3号の規定に基づいて算出しております。

日本興亜生命保険(株) 単体

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前事業年度	当第1四半期会計期間	比較増減
		(平成23年3月31日)	(平成23年6月30日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		16,986	9,470	△7,516
コールローン		599	606	7
債券貸借取引支払保証金		30,370	26,738	△3,631
金銭の信託		19,963	20,051	88
有価証券		423,688	443,964	20,276
(うち国債)	(285,772)	(306,412)	(20,639)
(うち地方債)	(56,588)	(56,640)	(52)
(うち社債)	(74,149)	(73,940)	(△208)
(うち株式)	(6,188)	(5,978)	(△209)
(うち外国証券)	(989)	(992)	(3)
貸付金		14,882	15,081	199
保険約款貸付		14,882	15,081	199
有形固定資産		256	231	△24
無形固定資産		2,579	3,106	526
代理店貸		20	35	15
再保険貸		74	126	51
その他資産		10,730	11,298	567
繰延税金資産		8,001	7,690	△311
貸倒引当金		△6	△6	—
資産の部合計		528,146	538,394	10,248
負債の部				
保険契約準備金		466,833	481,299	14,466
支払備金		3,420	2,999	△421
責任準備金		461,954	476,853	14,898
契約者配当準備金		1,457	1,446	△11
代理店借		998	747	△250
再保険借		126	93	△33
その他負債		33,739	29,225	△4,514
退職給付引当金		384	414	29
特別法上の準備金		631	654	23
価格変動準備金		631	654	23
負債の部合計		502,712	512,433	9,721
純資産の部				
株主資本				
資本金		20,000	20,000	—
利益剰余金		1,285	834	△451
株主資本合計		21,285	20,834	△451
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		4,147	5,126	978
評価・換算差額等合計		4,147	5,126	978
純資産の部合計		25,433	25,960	527
負債及び純資産の部合計		528,146	538,394	10,248

日本興亜生命保険(株) 単体

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	当第1四半期累計期間 〔自平成23年4月1日〕 〔至平成23年6月30日〕	比較増減	増減率
		金 額	金 額		
経常収益		25,269	30,144	4,875	19.3%
保険料等収入		22,800	26,982	4,181	18.3
(うち保険料)	(22,732)	(26,852)	(4,119)	(18.1)
資産運用収益		2,261	2,491	229	10.1
(うち利息及び配当金等収入)	(2,199)	(2,385)	(185)	(8.4)
(うち金銭の信託運用益)	(61)	(105)	(43)	(70.5)
その他経常収益		206	671	464	224.7
(うち支払備金戻入額)	(—)	(421)	(421)	(—)
経常費用		24,856	30,276	5,419	21.8
保険金等支払金		10,240	9,626	△614	△6.0
(うち保険金)	(2,558)	(2,557)	(△0)	(△0.0)
(うち年金)	(116)	(158)	(42)	(36.9)
(うち給付金)	(929)	(917)	(△12)	(△1.3)
(うち解約返戻金)	(6,462)	(5,802)	(△659)	(△10.2)
(うちその他返戻金)	(52)	(52)	(0)	(0.3)
責任準備金等繰入額		9,963	14,899	4,936	49.5
支払備金繰入額		16	—	△16	△100.0
責任準備金繰入額		9,946	14,898	4,952	49.8
契約者配当金積立利息繰入額		0	0	0	6.6
資産運用費用		12	11	△0	△2.0
(うち支払利息)	(9)	(10)	(1)	(11.0)
事業費		4,403	5,505	1,102	25.0
その他経常費用		237	233	△3	△1.6
経常利益又は経常損失(△)		412	△131	△544	△131.9
特別損失		37	175	138	364.1
固定資産等処分損		0	3	2	522.0
特別法上の準備金繰入額		20	23	2	10.1
価格変動準備金繰入額		20	23	2	10.1
その他特別損失		16	149	133	808.8
契約者配当準備金繰入額		313	385	72	23.0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		61	△693	△754	△1,231.7
法人税等		41	△242	△284	△680.9
四半期純利益又は四半期純損失(△)		19	△451	△470	△2,409.0

日本興亜生命保険(株) 単体

主要業績

保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前事業年度 (平成23年3月31日)				当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個人保険	626	112.8	43,489	108.6	644	102.8	44,210	101.7
個人年金保険	54	100.5	1,992	101.1	54	100.7	2,010	100.9
団体保険	—	—	11,287	102.1	—	—	10,937	96.9
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものであります。

新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)				当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個人保険	22	100.8	1,517	101.7	28	125.3	1,811	119.4
個人年金保険	0	217.6	26	219.8	0	144.5	39	147.5
団体保険	—	—	30	122.7	—	—	9	29.7
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資であります。

年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	前事業年度 (平成23年3月31日)		当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	62,874	108.9	63,830	101.5
個人年金保険	12,079	100.9	12,199	101.0
合 計	74,954	107.5	76,029	101.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	14,776	108.6	14,977	101.4

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
		前年同期比		前年同期比
個人保険	2,146	104.7	2,368	110.3
個人年金保険	138	197.1	233	168.4
合 計	2,284	107.7	2,601	113.9
うち医療保障・ 生前給付保障等	526	88.3	487	92.4

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）であります。
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病診断給付等）等に該当する部分の年換算保険料を計上しております。

日本興亜生命保険(株) 単体

ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	61,719	62,903
資本金等	21,285	20,560
価格変動準備金	631	654
危険準備金	4,752	4,831
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	5,849	7,232
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	27,847	28,527
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	1,352	1,096
(B) リスクの合計額	4,754	4,787
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R ₁)	3,134	3,152
第三分野保険の保険リスク相当額 (R ₈)	1,113	1,140
予定利率リスク相当額 (R ₂)	173	176
資産運用リスク相当額 (R ₃)	1,674	1,649
経営管理リスク相当額 (R ₄)	121	122
最低保証リスク相当額 (R ₇)	—	—
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	2,596.3 %	2,627.9 %

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条および第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

【参考】平成23年度末(平成24年3月31日)から適用される新基準による数値

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	60,073	59,953
資本金等	21,285	20,560
価格変動準備金	631	654
危険準備金	4,752	4,831
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	5,849	7,232
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	27,847	28,527
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△1,099	△2,402
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	805	549
(B) リスクの合計額	5,756	5,953
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R ₁)	3,134	3,152
第三分野保険の保険リスク相当額 (R ₈)	1,113	1,140
予定利率リスク相当額 (R ₂)	624	629
資産運用リスク相当額 (R ₃)	3,021	3,256
経営管理リスク相当額 (R ₄)	157	163
最低保証リスク相当額 (R ₇)	—	—
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	2,087.3 %	2,014.0 %

- (注) 1. 平成22年内閣府令第23号、平成22年金融庁告示第48号により、ソルベンシー・マージン総額およびリスクの合計額の算出基準について一部変更(マージン算入の厳格化、リスク計測の厳格化・精緻化等)がなされております。当該変更は平成23年度末から適用されます。上記は、仮に当該変更を平成22年度末および平成23年度第1四半期会計期間に適用したと仮定した場合の数値であります。
2. 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は平成23年金融庁告示第25号第1項第1号の規定、「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額」は同告示第1項第3号の規定に基づいて算出しております。

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)	比較増減
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		251	161	△89
有価証券		4,354	3,975	△379
（うち国債）	（	1,575）	（1,571）	（△4）
（うち株式）	（	757）	（671）	（△85）
有形固定資産		51	60	8
無形固定資産		1,064	—	△1,064
代理店貸		0	0	0
再保険貸		3	63	60
その他資産		288	263	△25
資産の部合計		6,014	4,524	△1,490
負債の部				
保険契約準備金		1,204	1,148	△56
支払備金		315	260	△55
責任準備金		888	888	△0
代理店借		3	3	△0
再保険借		31	32	0
その他負債		227	86	△141
退職給付引当金		24	26	1
特別法上の準備金		16	17	0
価格変動準備金		16	17	0
繰延税金負債		155	124	△30
負債の部合計		1,664	1,438	△226
純資産の部				
株主資本				
資本金		10,100	10,100	—
資本剰余金		2,100	2,100	—
利益剰余金		△8,123	△9,333	△1,209
株主資本合計		4,076	2,866	△1,209
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		273	218	△54
評価・換算差額等合計		273	218	△54
純資産の部合計		4,350	3,085	△1,264
負債及び純資産の部合計		6,014	4,524	△1,490

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	当第1四半期累計期間 〔自平成23年4月1日〕 〔至平成23年6月30日〕	比較増減	増減率
		金 額	金 額		
経常収益		1,003	1,073	70	7.0%
保険料等収入		976	1,003	26	2.7
(うち保険料)	(916)	(929)	(13)	(1.5)
資産運用収益		15	13	△1	△10.0
(うち利息及び配当金等収入)	(15)	(13)	(△1)	(△10.0)
その他経常収益		11	56	45	394.0
(うち支払備金戻入額)	(11)	(55)	(44)	(388.6)
(うち責任準備金戻入額)	(—)	(0)	(0)	(—)
経常費用		826	1,086	259	31.4
保険金等支払金		213	527	313	147.1
(うち保険金)	(128)	(422)	(294)	(229.2)
(うち給付金)	(41)	(63)	(21)	(51.4)
(うちその他返戻金)	(1)	(1)	(0)	(7.3)
責任準備金等繰入額		4	—	△4	△100.0
責任準備金繰入額		4	—	△4	△100.0
資産運用費用		0	0	△0	△61.4
(うち支払利息)	(0)	(0)	(△0)	(△61.4)
事業費		593	544	△48	△8.2
その他経常費用		14	14	△0	△3.5
経常利益又は経常損失(△)		177	△12	△189	△107.0
特別損失		0	1,196	1,195	352,829.8
固定資産等処分損		—	1,195	1,195	—
特別法上の準備金繰入額		0	0	△0	△14.7
価格変動準備金繰入額		0	0	△0	△14.7
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		176	△1,208	△1,385	△783.1
法人税等		0	0	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)		175	△1,209	△1,385	△787.3

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体

主要業績

保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前事業年度 (平成23年3月31日)				当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個人保険	46	99.0	7,841	97.5	46	99.3	7,754	98.9
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)				当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個人保険	0	68.1	149	65.1	0	65.6	93	62.7
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	前事業年度 (平成23年3月31日)		当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)	
	前年度末比		前年度末比	
個人保険	3,707	101.6	3,708	100.0
個人年金保険	—	—	—	—
合 計	3,707	101.6	3,708	100.0
うち医療保障・ 生前給付保障等	878	101.8	880	100.2

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
	前年同期比		前年同期比	
個人保険	66	70.2	41	62.8
個人年金保険	—	—	—	—
合 計	66	70.2	41	62.8
うち医療保障・ 生前給付保障等	19	66.9	12	64.5

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）であります。
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除きます。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含まず。）等に該当する部分の年換算保険料を計上しております。

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	5,020	3,728
資本金等	4,076	2,866
価格変動準備金	16	17
危険準備金	540	535
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	385	308
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	—	—
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) リスクの合計額	567	559
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R_1)	443	438
第三分野保険の保険リスク相当額 (R_8)	95	94
予定利率リスク相当額 (R_2)	0	0
資産運用リスク相当額 (R_3)	102	90
経営管理リスク相当額 (R_4)	19	18
最低保証リスク相当額 (R_7)	—	—
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,768.9 %	1,332.1 %

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条および第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

【参考】平成23年度末(平成24年3月31日)から適用される新基準による数値

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	5,020	3,728
資本金等	4,076	2,866
価格変動準備金	16	17
危険準備金	540	535
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	385	308
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) リスクの合計額	593	581
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R_1)	443	438
第三分野保険の保険リスク相当額 (R_8)	95	94
予定利率リスク相当額 (R_2)	0	0
資産運用リスク相当額 (R_3)	191	169
経営管理リスク相当額 (R_4)	21	21
最低保証リスク相当額 (R_7)	—	—
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,690.3 %	1,283.0 %

(注) 平成22年内閣府令第23号、平成22年金融庁告示第48号により、ソルベンシー・マージン総額およびリスクの合計額の算出基準について一部変更(マージン算入の厳格化、リスク計測の厳格化・精緻化等)がなされております。当該変更は平成23年度末から適用されます。上記は、仮に当該変更を平成22年度末および平成23年度第1四半期会計期間に適用したと仮定した場合の数値であります。

補足説明

< 諸比率等の計算方法 >

- ・ 保険引受利益＝保険引受収益－保険引受費用－保険引受に係る営業費及び一般管理費＋その他収支[※]
 ※その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。
- ・ 正味損害率 ＝ (正味支払保険金＋損害調査費) ÷ 正味収入保険料×100
- ・ 正味事業費率＝ (諸手数料及び集金費＋保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料×100
- ・ 収支残高率 ＝ (正味収入保険料－正味支払保険金－損害調査費－正味事業費) ÷ 正味収入保険料×100

< ソルベンシー・マージン比率 >

- ・ 保険会社は、保険事故発生や契約満期などの際における保険金・給付金や満期返戻金などの支払に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生、大幅な環境変化による死亡率の変動または保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・ こうした「通常の予測を超える危険」(表の「(B) リスクの合計額」)に対して、「保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(表の「(A) ソルベンシー・マージン総額」)の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「(C) ソルベンシー・マージン比率」であります。
- ・ 「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

①保険引受上の危険 (一般保険リスク) (第三分野保険の保険リスク)	: 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く。)
②予定利率上の危険 (予定利率リスク)	: 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
③資産運用上の危険 (資産運用リスク)	: 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
④経営管理上の危険 (経営管理リスク)	: 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で①～③、⑤および⑥以外のもの
⑤巨大災害に係る危険 (巨大災害リスク)	: 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
⑥最低保証に係る危険 (最低保証リスク)	: 特別勘定に属する財産の通常の予測を超える価額の変動等により発生し得る危険
- ・ 「保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・危険準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、保険会社の経営の健全性を判断するための指標のひとつであります。その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

<ソルベンシー・マージン比率の算出基準の見直し>

- ・ソルベンシー・マージン比率の信頼性にかかる一層の向上の観点から、ソルベンシー・マージン比率の算出にかかる法令等が改正され、平成23年度末（平成24年3月31日）から新基準が適用されます。適用開始までの間、現行基準のソルベンシー・マージン比率と併せて、新基準に基づいて試算したソルベンシー・マージン比率を参考表示します。
- ・新基準のソルベンシー・マージン比率は、リスク計測の厳格化等により、現行基準に比べ低下する場合がありますが、現行制度と同様、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。